

令和5年度 男鹿地域2校間連携研究発表会

目的	工業と水産の見方・考え方を働かせた実践的、体験的、社会的な学習活動の発表の場を設けることにより、社会性を育む。又、生徒交流によって2校間の連携を図り、統合に向けて良好な関係構築を推進する。	
日時	令和6年1月18日（木）8:50～11:50	
場所	男鹿工業高校 体育館	
対象	男鹿海洋高校生徒104名、男鹿工業高校生徒230名 両校の教員、学校評議員、保護者	
日程	9:10～ 9:12	開会（司会 男鹿海洋高校生徒）
	9:13～ 9:15	挨拶 男鹿工業高校 校長
	9:16～ 9:18	挨拶 男鹿工業高校 生徒代表
	9:18～ 9:19	学校評議員紹介・諸連絡（司会）
	9:19～ 9:28	発表① 男鹿工業高校機械科 水の簡易濾過装置の製作 水の簡易濾過装置の製作を行い、天王みどり学園の生徒と一緒にSDGSについて、水に関して考え交流を深めました。
	9:31～ 9:43	発表② 男鹿海洋高校普通科 男鹿の魅力を再発信 ～10代をターゲットにしたサイクリングコースの提案～ 男鹿は、観光スポット間の距離が長いことから、自転車に乗って移動の間も男鹿を満喫する観光にできないか考え、10代を想定したサイクリングコースを提案して、男鹿の魅力を再発信します。
	9:45～ 9:54	発表③ 男鹿工業高校電気電子科 洋上風力発電の研究 ～秋田の未来のために～ 秋田県における洋上風力の最新事情と、O&Mに焦点をあててまとめました。
9:56～ 10:15	休憩	

10:15～10:27	<p>発表④ 男鹿海洋高校海洋科 ネオジム磁石による波力発電 ～活用への道～</p> <p>ネオジム磁石を利用した波力発電に 取り組むことで、波力発電の設置 取得するアイデアを改良できる イデや改を 験活</p> <p>石を作ることができ、光を 利用して発電し、波力発電の 利用が期待されています。近 に設置する予定です。</p>
10:29～10:38	<p>発表⑤ 男鹿工業高校設備システム科 水酸化マグネシウムによる水の浄化 について</p> <p>水酸化マグネシウムを使用して汚れた 水がどうなるかを研究しました。</p>
10:39～10:49	<p>発表⑥ 男鹿海洋高校食品科学科 男鹿の水産物を使ったメニュー開発 にチャレンジ</p> <p>男鹿の水産物を使い、レストランに 提供できるメニュー開発を試みま した。多くの人に好まれるメニ ューを考案し、試作品のアンケ ート調査を実施しました。又、 実験を行い、食べやすい大き さや簡単に調理できる方法を 考案しました。</p>
10:51～10:54	講評・挨拶 男鹿海洋高校 校長
10:55～10:57	閉会（司会） 諸連絡
11:00～11:05	SHR
11:15～11:50	生徒会交流会

